



プレスリリース No. 16/25  
即時解禁  
2016年1月27日

国際通貨基金 (IMF)  
米国・ワシントン DC

## IMF、歴史的なクォータ及びガバナンス改革を実施

国際通貨基金 (IMF) のガバナンスと恒常的資本を歴史的かつ抜本的に変える、IMF の第 14 次クォータ一般見直しを実現するための条件が揃った。

全選任制の理事会の誕生に必要な IMF 協定の改正 (理事会改革修正案) が昨日発効になった。この理事会改革修正案は、より広範なクォータ及びガバナンス改革の一環だった。クォータ及びガバナンス改革には第 14 次クォータ一般見直しのもとの IMF クォータの倍増、及びクォータのシェアのダイナミックな新興市場国・途上国メンバーへの大幅なシフトも含まれていた。理事会改革修正案の発効が条件だった第 14 次見直し下でのクォータ増額は、今後数週間以内を実現する見通しである。  
(<http://www.imf.org/external/np/sec/misc/consents.htm#a2>)

これら改革は、IMF のガバナンス構造にダイナミックな新興市場国及び途上国の増大する役割をより適切に反映させるための重要な措置である。改革が実施されることで、IMF の信頼性、実効性及び正当性が強化されるだろう。新興市場 4 カ国 (ブラジル、中国、インド、ロシア) が初めて IMF の 10 大出資国に名を連ねることになる。また、改革により IMF の恒常的資本が 4,770 億 SDR (約 6,590 億米ドル) へと倍増することから、その資金面の力も増すことになる。

IMF のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は「これらの真に歴史的な改革を批准した我々の加盟国を称える」と述べ「これらの改革は、急激に変化している国際環境の中で、IMF が加盟国のニーズにより適切に応えかつこれを表すことを担保するものだ。今日は重要な前進を成し遂げた日だが、IMF のガバナンス強化のための我々の取り組みは継続されることから、これが最後の変化となるわけではない」と続けた。

## 背景情報及び関連リンク:

2010年に総務会が承認した理事会修正案の発効には、総議決権の85%にあたる加盟国の5分の3の批准が必要だった。同時にその発効が、第14次クォーター一般見直しの下でのクォータ増額を実現するための一般条件でもあった。理事会修正案の発効をはじめとする諸条件が揃ったことで、加盟国は自らのクォータ増額分を払い込みこれを実現することができる。このプロセスは、1カ月以内に実質的に完了となる見込みだ。<sup>1</sup>

2010年のクォータ及びガバナンス改革は、2010年12月にIMF総務会が承認したもので（プレスリリース No. 10/477）、2008年4月に総務会が承認した一連の改革を基にしている。

## 2010年クォータ改革の主な成果:

- IMF188加盟国それぞれのクォータが増額となり、合計約2,385億SDR（約3,290億米ドル）から4,770億SDR（約6,590億米ドル）に。
- クォータのシェアが、ダイナミックな新興市場国及び途上国、そして過大に評価されていた加盟国から過小に評価されていた加盟国に、それぞれ6%以上シフト。
- 新興市場4カ国（ブラジル、中国、インド、ロシア）がIMFの10大出資国入りへ。その他の10大出資国は、米国、日本、欧州4主要国（フランス、ドイツ、イタリア、イギリス）。
- IMFの最も貧しい加盟国のクォータシェア及び議決権は確保。
- IMF理事会が、はじめて全選任理事制に。任命理事は廃止となる（現在は、5大クォータ出資国が理事を任命している）。
- 7カ国以上が加わる選出母体の理事会での代表性を強化するため、第二理事代理を任命する余地が拡大された。結果、アフリカ諸国が構成する選出2母体を含む13の選出母体が現在、第二理事代理を任命することができる。
- 欧州先進国は、理事会での総議席数を2議席減らすことにコミット。
- 第14次クォータの一般見直しの発効後の焦点は、第15次クォータの一般見直しの作業と、新たなクォータ計算式を含めた必要な理事会合意の確保である。

<sup>1</sup> 各国の新しいクォータが有効となるには、加盟国は (1)加盟国が新規クォータに同意した日、(2) 第14次クォータ一般見直しによるクォータ増額が発効となる日、どちらか後に決められた方から30日以内にクォータを払い込まなければならない。2016年1月26日現在、総クォータの約98%にあたる加盟国が既にクォータ増額に同意している。

**追加情報：**

IMF 理事会、クォータ及びガバナンスの大規模な改革を承認  
<http://www.imf.org/external/japanese/np/sec/pr/2010/pr10418j.pdf>

**IMF のクォータ及びガバナンスに関する出版物**

<http://www.imf.org/external/np/fin/quotas/pubs/index.htm>

**クォータ・ファクトシート**

<http://www.imf.org/external/japanese/np/exr/facts/quotasj.htm>

**IMF の意思決定・ファクトシート**

<http://www.imf.org/external/japanese/np/exr/facts/governj.htm>